

# 令和5年度第6回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（1日目）

日 時：令和6年3月14日（木）

午後6時～8時30分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

## 1 出席者

審査委員 土井委員長、大倉委員、安田委員、相馬委員、小山内委員、秋元委員、  
伊藤委員、神委員、三村委員、佐藤委員、工藤委員、一條委員、山木委員

事務局 高谷課長、齊藤課長補佐、菊池主幹兼協働推進係長、葛西主査、石岡主査、  
工藤（慶）主事、佐々木主事、片岡主事、山内主事

## 2 審査方法

### （1）一般部門

1事業ごとに申請書類及び公開プレゼンテーションの内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに1人100点満点（10項目×10点）で採点を行う。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

#### 【補助金の交付決定を受けた回数が0～2回】

採択 …次のすべてを満たすもの

- ①出席委員の合計の平均点が60点以上
- ②出席委員の各審査項目の平均点が3点以上

#### 【補助金の交付決定を受けた回数が3回以上】

採択 …次のすべてを満たすもの

- ①出席委員の合計の平均点が60点以上
- ②出席委員の「公益性」、「将来性」、「費用の妥当性」の審査項目の平均点が6点以上
- ③出席委員の「必要性」、「実現性」の審査項目の平均点が3点以上

## 3 審査結果

- ・一般部門 27事業中6事業
  - 採択事業 6事業
  - 不採択事業 0事業
- ・スタート部門 3事業中0事業
  - 採択事業 0事業
  - 不採択事業 0事業

《審査内容》

一般部門

事業番号	27
事業名	カードゲームあつぷるぱい（牌）を広めりんご栽培の歴史を伝承する
団体名	あつぷるぱい（牌）を広める会

【主な意見】

- ・単にカードゲームを学校に配布するだけではなく、紙芝居や講話の後にゲームを体験するという一連の流れがとても良いと思う。このような工夫が子どもたちへの浸透に繋がると思うので、ぜひ継続していただきたい。
- ・インストラクターの養成や多言語化も検討するなど、さらに一步先を見て活動されている。新たな発展に繋がっていくと思うので、応援したい。

【審査結果】

合計点 80.2点  $\geq$ 60.0点，各審査項目の平均点  $\geq$ 3点  $\Rightarrow$ 採択（申請額どおり）

※審査委員 13名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.7
合計		80.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	12
事業名	第25回未来コンサート（第22回弘前桜の園作曲コンクール含む）
団体名	弘前桜の園音楽協会

【主な意見】

- ・コンクールについて、市内からの出品が少なく、地域とのつながりが希薄に感じる。また、高等学校部門については、ほぼ同じ学校からの出品なので、今以上に弘前との関わりを生み出したり、事業の広がりを目指して取り組んでいただきたい。
- ・新しい取り組みとして検討されている作曲ワークショップは、地域の子どもたちの作曲の裾野を広げるという意味では、素晴らしい企画だと思う。
- ・実績があり、協賛を受けやすい事業だと思う。例えば、ワークショップを受けた子ども向けの「初めて部門」をコンクールに新設するなど、弘前との関わりを深く感じさせるような企画を実施すれば、地元からの協賛をより受けやすくなると思うので、事業の枠組みを少し組み変えてみるということも是非検討していただきたい。

【審査結果】

合計点 67.7点  $\geq$ 60.0点，各審査項目の平均点  $\geq$ 3点  $\Rightarrow$ 採択（申請額どおり）

※審査委員 13名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.3
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.1
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.1
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.9
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.3
合 計		67.7

《審査内容》

一般部門

事業番号	7
事業名	楽しいレクゲームやスポーツ鬼ごっこを体験しよう／スポーツ鬼ごっこ交流大会 2024 冬の陣
団体名	特定非営利活動法人 ひろさきレクリエーション協会

【主な意見】

- ・色々な事情で体験会などに参加できない子どももいると思うので、チラシのQRコードからルール説明動画にアクセスできるようにするなど、スポーツ鬼ごっこの裾野を広げる取り組みに期待している。
- ・団体の構成員だけで審判を行うことが困難な状況であるので、団体の外部に協力者のネットワークを作るなどして、運営する側を広げる取り組みを行ってほしい。
- ・毎年事業を実施していくにあたって、1年に1つ課題を解決するといった目標を立てて行ってほしい。
- ・子どもを対象としている他団体と一緒に何回か事業を行うことによって、参加者を増やし、新しいアイデアを得ることができるのではないかと。

【審査結果】

合計点 72.2点  $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点  $\geq$ 6点

⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 13名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.7
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.1
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.1
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.8
合計		72.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	9
事業名	子育て・親育ちを楽しむ「運動遊び」と「ママの心とからだのメンテナンス」
団体名	子育て支援サークル ママーズクラブ

【主な意見】

- ・子どもの預け先が無いなどの理由で、一人での外出が難しい方もいると思う。そのような方に、託児も可能だということが伝わると、参加者の増加につながるのではないかな。
- ・どのような活動をしているのかわからないと、新規参加者にはリーチしていかないと思う。子どもの写真をSNSで発信する際は配慮が必要だということも理解するが、ぜひ周知に関して努力をしていただきたい。
- ・企業協賛を得たいということであれば、周知に力を入れてないと企業側としては協賛しづらいという側面もあるので、今以上に周知に力を入れて取り組んでいただきたい。
- ・団体としてやりたいこととできることがあって、そのギャップが生じていると思う。ギャップを埋めるために、内容や実施方法を見直す、団体ができることを増やすなど、補助金以外の部分で工夫をしていくと、もう少し自立に近づくとと思う。

【審査結果】

合計点 69.2点 ≥60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点 , 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点  
⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 13名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.9
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.1
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.4
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.8
合計		69.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	17
事業名	さくらまつり及びりんご花まつり運行バスロケーション発信事業
団体名	弘前大学 丹波研究室

【主な意見】

- ・この事業は、理系科目×まちづくりとしては最たる事例だと思う。理系科目を学んでいる学生がまちづくりに参画するきっかけにもなると思うので、学術的な発信にとどまらず、地域に対して広く発信していただきたい。
- ・学生が市のためにまちづくり活動に取り組んでおり、その活動が地域経済の活性化にもつながるといのは素晴らしいことなので、是非今後も続けていただきたい。
- ・同様の事業を専門業者に発注すると、プログラム構築に係る費用など高額になるところ、そういった費用は予算計上されておらず、少ない額で良いシステムを作りたいということなので、応援したい。
- ・今後は事業効果を地域に共有し、バス会社や市の関係課の協力も得ながら活動を進めていただきたい。

【審査結果】

合計点 82.2点  $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 ,  
 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点  $\geq$ 6点  
 ⇒採択 (申請額どおり)

※審査委員 13名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.3
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.2
合計		82.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	16
事業名	こどもの居場所 あさひ寺子屋
団体名	こどもの居場所 あさひ寺子屋

【主な意見】

- ・お寺でやるのが強みだと思うので、座禅や写経など、何かお寺でやるという面白さがあったらいいと思う。
- ・たくさんの大学生がボランティアで参加してくれるバックアップ体制が充実していて、素晴らしいと思う。
- ・地域に根ざした場所で無理をせずに、ずっと継続していける力を保ちながら、頑張っていたきたい。今後の展開と発展に期待したい。

【審査結果】

合計点 86.8点  $\geq$ 60.0点 , 各審査項目の平均点  $\geq$ 3点  $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

※審査委員 13名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.9
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.9
合計		86.8

# 令和5年度第6回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（2日目）

日 時：令和6年3月15日（金）

午後6時～8時20分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

## 1 出席者

審査委員 土井委員長、大倉委員、安田委員、相馬委員、小山内委員、秋元委員、  
伊藤委員、神委員、三村委員、佐藤委員、工藤委員、一條委員、山木委員

事務局 高谷課長、齊藤課長補佐、菊池主幹兼協働推進係長、石岡主査、  
工藤（慶）主事、佐々木主事、片岡主事、齊藤主事、工藤（徳）主事

## 2 審査方法

（1）一般部門 1日目同様

（2）スタート部門

1事業ごとに申請書類の内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに事業の適否を判断する。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

## 3 審査結果

- ・一般部門 27事業中5事業
  - 採択事業 4事業
  - 不採択事業 1事業
- ・スタート部門 3事業中1事業
  - 採択事業 1事業
  - 不採択事業 0事業



《審査内容》

一般部門

事業番号	13
事業名	Sott Sott の居場所
団体名	Sott Sott

【主な意見】

- ・悩みがあるときに1番訪れやすいのは行政であることが多いので、行政側にも取り組みについて情報提供するなどして連携して行ってほしい。
- ・大人に対するケアの仕方というのは難しいものであるが、大きな社会問題になりつつある課題であるため、たくさんの人の手を借りて継続して取り組んで行ってほしい。
- ・1%システム補助金を使用している事業であるということをもっとPRできるような工夫を行ってほしい。

【審査結果】

合計点 83.0点  $\geq$ 60.0点, 各審査項目の平均点  $\geq$ 3点  $\Rightarrow$ 採択(申請額どおり)

※審査委員 12名で審査採点(山木委員除く)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	9.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.5
合計		83.0

《審査内容》

一般部門

事業番号	3
事業名	第4回 武家屋敷の町並み周知事業～武家屋敷で楽しもう～
団体名	弘前市仲町地区伝統的建造物群保存会

【主な意見】

- ・伝統的な町並みを継承していく重要な活動であると思うので、チラシなどで活動をアピールする仕掛けを作り、継続的に周知していただきたい。
- ・この地区の価値を多くの人に知っていただくために、案内人を育てていくことと、実績などをパンフレットなどでPRしていくことが重要だと思う。
- ・継続している事業なので、前回の実績でどれだけ参加につながったかなどの検証をして、次の事業で見直しを図るなど、ブラッシュアップしていただきたい。

【審査結果】

合計点 68.8点  $\geq$  60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点  $\geq$  3点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点  $\geq$  6点

⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12名で審査採点（山木委員除く）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.7
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.8
合 計		68.8

《審査内容》

一般部門

事業番号	2
事業名	「第13回 津軽岩木スカイラインを歩いてみよう会」
団体名	弘前歩こう会

【主な意見】

- ・運営側が高齢化してきているため、若い人も運営に参加してもらえるような対策をしていかなければいけないと思う。
- ・関係団体や体育施設に郵送で送付している案内をメールでの送付に切り替える、イベントに参加した人が何を見て参加したかの分析を行うなどして費用削減に取り組んでほしい。
- ・この事業の内容自体を変えることは難しいと思われるが、収入を増やすか支出を減らさないと参加費を上げ続けなければならなくなるため、クラウドファンディングや協賛を募るなど、支えてくれる人を増やす努力をしてほしい。

【審査結果】

合計点 69.5点  $\geq$  60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点  $\geq$  3点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点  $\geq$  6点

※審査委員 13名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.1
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.1
合 計		69.5

《審査内容》

一般部門

事業番号	1
事業名	「第3回 世界文化遺産 大森勝山遺跡周知事業」
団体名	弘前縄文の会

【主な意見】

- ・申請書やプレゼンの中で、ぜひ成果についてももう少し分かりやすく伝えてほしいと思う。例えば、活動を通して変わってきた点、影響が出てきている点などがあれば、審査する側が活動を評価しやすくなると思う。
- ・大森勝山遺跡を実際に見たことがない人がいきなり外ヶ浜に行っても、大森勝山遺跡の必要性を感じることは難しいと思う。大森勝山遺跡を市の財産の一つとして、もっと活用していこうという流れが生まれたり、観光としての必要性を感じる人が増えたりするものであれば、市外への見学会の意味が少し感じられてくる。
- ・補助金の性質上、市民や弘前市への還元を考えなければならないので、市外への見学会については、例えば1日目に市外に見に行った人が、2日目にそれについて学び、考える、というように、プログラム化して行う必要があるのではないかと。

【審査結果】

合計点 64.3点  $\geq$  60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点  $\geq$  3点 ,  
 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点  $<$  6点の項目有  $\Rightarrow$  不採択  
 ※審査委員 13名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.9
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	5.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	5.8
合計		64.3

《審査内容》

一般部門

事業番号	4
事業名	防災・地域づくり「第7回 西部仲町 自主防災会 防災訓練事業」
団体名	西部仲町自主防災会

【主な意見】

- ・持続可能な内容に進化しており、申請金額も年々抑えられていて、素晴らしいと思う。
- ・アイデア次第で、費用をかけずに実施できる事業だと思う。町会からの助成金の範囲で実施できるようになれば、継続もしやすく、モデル的な防災組織になると思う。
- ・被災してしまった場合、自分たちで炊き出しを行うことが難しい場合も想定されるので、「自助」の大切さも周知していただきたい。例えば、ローリングストックできる食品や、ラップなど、被災時に有効な物資を各自用意したり、年に1回の防災訓練の際に、ローリングストックしていた食材をみんなで食べてみるというような内容であれば、更に経費削減にもつながると思うので、新しい内容にどんどん取り組んでいただきたい。

【審査結果】

合計点 80.5点 ≥60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点 ,  
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点

※審査委員 13名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.5
合計		80.5

《審査内容》

スタート部門

事業番号	①
事業名	誰でも参加できる SST 講座
団体名	弘前誰でも参加できる SST の会

【主な意見】

- ・ SST という言葉が一般の方には難しいので、周知する際には SST という言葉を前面に出さず、「この講座を受講すれば、こんな効果がある」ということを柔らかく伝える工夫が必要ではないか。
- ・ 色々な立場の人に役に立つ内容だと思うが、自分に関係がある内容なのかが伝わりづらい。例えば「就活で悩んでいる方」「会社や学校で発達障害の方と関わる方」など、各回でターゲットを絞った講座内容とした方が、足を運びやすいのではないか。
- ・ 子どもと接する保育園や幼稚園、特別支援学級の先生方、保護者の方を対象に講座を実施することも効果的ではないか。
- ・ 引きこもりの方の居場所づくりの事業を行っている団体もあるので、そうした団体に対し「SST でこういうことができます」とアプローチするのも効果的ではないか。

【審査結果】

適 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 13 名で審査

# 令和5年度第6回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（3日目）

日 時：令和6年3月16日（土）

午前9時～12時35分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

## 1 出席者

審査委員 土井委員長、相馬委員、小山内委員、秋元委員、伊藤委員、神委員、三村委員、佐藤委員、工藤委員、一條委員、山木委員

事務局 高谷課長、齊藤課長補佐、三上総括主幹、菊池主幹兼協働推進係長、対馬市民生活係長、石岡主査、工藤（慶）主事、佐々木主事、片岡主事、山内主事

## 2 審査方法

（1）一般部門 1日目同様

（2）スタート部門 2日目同様

## 3 審査結果

- ・一般部門 27事業中7事業
  - 採択事業 6事業
  - 不採択事業 1事業
- ・スタート部門 3事業中1事業
  - 採択事業 1事業
  - 不採択事業 0事業

《審査内容》

一般部門

事業番号	6
事業名	富田清水町会創立70周年記念誌発行事業
団体名	富田清水町会

【主な意見】

- ・町会の申し送り事項や、過去にあったことなどを詳しく知ることができる資料となれば、自主防災組織など、町会の人を巻き込みながら勉強会を開く活用の仕方もあると思う。
- ・制作の段階から、若い人も参加できるような仕組みがあるといいと思う。回覧板などを利用し、運営で困っていることを投げかけてみれば、若い人が自分もできることがある、と活動に踏み出すきっかけになるのではないかと。

【審査結果】

合計点 78.9点  $\geq$  60.0点 , 各審査項目の平均点  $\geq$  3点  $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

※審査委員 11名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.1
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.6
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.6
合計		78.9



《審査内容》

一般部門

事業番号	5
事業名	大仏公園あじさいまつり
団体名	石川町会

【主な意見】

- ・植樹を行うにあたっては苗を買う費用などがかかると思うので、チラシなどで通年寄付を受け付けている旨を記載してみるとよいのではないか。
- ・大仏公園に対する愛着を高めるために、あじさいを植樹したら剪定も一緒に行うよう呼び掛けるなど、たくさんの人を巻き込んで行ってほしい。
- ・弘南鉄道の活性化には周辺施設との連携が必要になってくるが、大仏公園は沿線の観光地としての側面も強いと思うので、連携を強めて事業を行って行ってほしい。

【審査結果】

合計点 87.1 点  $\geq$  60.0 点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点  $\geq$  3 点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点  $\geq$  6 点

※審査委員 11 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.9
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.7
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	9.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	9.3
合 計		87.1

《審査内容》

一般部門

事業番号	1 1
事業名	乳井区域内放棄地の環境整備と美化活動
団体名	乳井町おこし協力会

【主な意見】

- ・ずっと継続されていて、それが線となって繋がって、すばらしい地域に変わっていく、お手本みたいな事業だと思う。今後10年、20年と継続していくことで、乳井地区が有名な場所にどんどん変わっていきそうな、発展性がある事業だと思う。
- ・夏休みに子どもたちと森林浴を実施する際は、チェックポイントを設けてクイズに答えてもらいながら歩くなど、遊びの要素があると良いのではないか。たくさんの場所を整備されていて、名所もあるので、子どもたちを引きつけるような企画を検討していただきたい。
- ・毎年乳井の歴史の勉強会も実施されているが、講師のお話を聞くだけではなく、学んだことを活かして、会員のみなさんが語り部になって活動していただきたい。更には、地域の高齢者の人たちも語り部になってもらうなど、語り部を育てていくような活動をしていただきたい。

【審査結果】

合計点 92.2点 ≥60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点 ,  
 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点  
 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 11名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.9
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	9.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	9.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.9
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.9
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.1
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	9.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	9.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	9.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	9.6
合 計		92.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	18
事業名	小さな命を守ろう ニャンちゃん譲渡会
団体名	弘前保護猫活動連絡協議会

【主な意見】

- ・発信力を持っていただき、命の大切さ、きちんとお世話することを伝えるのはもちろん、猫という存在がストレス解消になるなど、メリットになることをきちんと伝えて、住みやすいまちを実現して欲しい。
- ・譲渡会をやっているということを知ってもらうことが事業をより効果的に思うので、市内の動物病院やペットショップにチラシを貼ってもらうなど、協力をお願いすれば良いと思う。

【審査結果】

合計点 79.5点  $\geq$ 60.0点，各審査項目の平均点  $\geq$ 3点  $\Rightarrow$ 採択（申請額どおり）

※審査委員 11名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.4
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合計		79.5

《審査内容》

一般部門

事業番号	24
事業名	「第2回 大石武学流庭園めぐり」及び「大石武学流庭園基礎講座」
団体名	大石武学流庭園調査研究会

【主な意見】

- ・当補助金は市内での活動を前提としている中で、市外の庭園を見て、それをどう活動に活かしていくのか、弘前市にどう還元されていくのかというところが、ストレートに伝わってこない。大事な活動だからこそ、団体の皆さんの中で、事業を見つめ直して、きちんと整理して、計画を立てる必要があると思う。
- ・この事業は、「観光振興」と「庭園の保存」で事業が分けられると思う。観光の道筋を立てるとすれば、団体だけで取り組もうとしても、なかなか活動の幅が広がらないこともあると思うので、外部の力が必要になってくるし、庭園の保存というところでは、市民に対して、庭園の保存、継承、周知をどう行っていくのか、ということになると思う。事業を2つに整理して進めていくと、うまくいくのではないかな。

【審査結果】

合計点 56.9点 <60.0点 ⇒不採択

審査項目の平均点 各審査項目の平均点 ≥3点

※審査委員 11名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	5.6
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	5.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	5.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	5.3
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	5.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	4.7
合計		56.9

《審査内容》

一般部門

事業番号	20
事業名	すべての子どもたちにスポーツする機会を 児童のスポーツ活動支援事業
団体名	特定非営利活動法人 スポネット弘前

【主な意見】

- ・学校関係者、保護者、地域関係者などと、地域のスポーツ環境について検討する懇談会ができれば、スポーツ人材等の情報を地域で共有するなど、低コストで地域の実情に合わせたスポーツ環境を生み出せる可能性が出てくると思う。
- ・個々で取り組むには限界があるので、このような仕組みを全市的に運営できるようになれば、次の施策にも繋がっていくと思うので、頑張っていたきたい。
- ・地域の重要性が求められるなか、仕組みづくりについては喫緊の課題と思うが、まずは今の子ども達のために、1%システムで応援しながら団体には活動を継続していてももらいたい。

【審査結果】

合計点 93.5点  $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 ,  
 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点  $\geq$ 6点  
 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 11名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	9.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	9.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	9.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	9.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	9.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	9.1
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	9.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	9.6
合 計		93.5

《審査内容》

一般部門

事業番号	23
事業名	久渡寺で応挙の幽霊5
団体名	久渡寺で応挙の幽霊実行委員会

【主な意見】

- ・この事業がきっかけとなって久渡寺エリアが活性化しているということは理解しているが、この事業自体の発展性をPRできるよう取り組んでほしい。
- ・応挙の幽霊だけでない久渡寺自体の価値も市民に知ってもらえるようになるとよいと思う。

【審査結果】

合計点 72.8点  $\geq$  60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点  $\geq$  3点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点  $\geq$  6点

⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 10名で審査採点（一條委員除く）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.6
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.4
合 計		72.8

## 《審査内容》

スタート部門

事業番号	③
事業名	今ここに！～ 2024 ほぐしのワークからステージへ～
団体名	みやぞのママストレッチ

### 【主な意見】

- ・外に開いて活動を行う場合には、どう呼びかけるかが大事。「今ここに」「ほぐしのワークからステージへ」という表現だと、どういうことを行うものなのかが伝わりづらいので、SNSやフライヤーを作成する際には、参加してほしい方に理解してもらえるようなものにしていただきたい。
- ・小さい子どもを育てる母親にとっては、子どもを預けて自分の時間を作れるだけでも、嬉しいことだと思うので、フライヤーなどにはぜひ、「安心して子供を預けて自分の時間を楽しめるよ」というキャッチコピーを入れ、安心して参加できることをPRし、多くの参加者を集めるようにしていただきたい。
- ・デネガの駐車場は、会場から遠い場所にあるので、フライヤーには、案内を入れた方が良いと思う。

### 【審査結果】

適 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 10名で審査（一條委員除く）

# 令和5年度第6回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（4日目）

日 時：令和6年3月17日（日）

午前9時～12時15分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

## 1 出席者

審査委員 土井委員長、安田委員、相馬委員、小山内委員、秋元委員、伊藤委員、  
神委員、三村委員、佐藤委員、工藤委員、一條委員、山木委員

事務局 高谷課長、齊藤課長補佐、菊池主幹兼協働推進係長、中畑主査、工藤主査、  
石岡主査、工藤（慶）主事、佐々木主事、片岡主事

## 2 審査方法

（1）一般部門 1日目同様

（2）スタート部門 2日目同様

## 3 審査結果

- ・一般部門 27事業中8事業
  - 採択事業 8事業
  - 不採択事業 0事業
- ・スタート部門 3事業中1事業
  - 採択事業 1事業
  - 不採択事業 0事業



《審査内容》

一般部門

事業番号	25
事業名	弘前5大学サークルガイド
団体名	学生団体@ぼくらし next

【主な意見】

- ・学生と地域の協働というところが一番大事なので、どうすれば地域と繋がることのできるのか、最終的に自分たちは地域の中でどういうことをしたいのか、掲載するサークルとも考え方を共有して作成してほしい。
- ・地域の方が学生やサークルと繋がりたいときに、地域の方が参照しやすいような項目立てがあると、活動の幅も広がるので検討していただきたい。
- ・いろいろな学生の意見を集めて反映させていくことで、サイトの質が上がっていくと思う。

【審査結果】

合計点 76.8点  $\geq$ 60.0点 , 各審査項目の平均点  $\geq$ 3点  $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.3
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.5
合 計		76.8

《審査内容》

一般部門

事業番号	26
事業名	弘前のカフェ・喫茶店を広くもっと使ってもらう広報活動
団体名	学生団体 Magnify HIROSAKI

【主な意見】

- ・情報収集の方法としてはSNSが一般的となっており、フリーペーパーは自ら取りにいった方の目にしか留まらないと思う。一方で、Webに誘導する仕組みとして、フリーペーパー的なシステムは必要だとも思うが、更新頻度が高くないという弱点があるので、同じような情報を網羅的に載せるのではなく、それぞれ役割や強弱をつけるなど、工夫していただきたい。
- ・商売をしている方々の情報を発信する企画であり、店側が十二分にPRされなければメリットが無いので、広報された時点で店のマイナスイメージにならないよう、記載する項目や表現について、慎重に検討する必要があると思う。
- ・正確で質の高い新鮮な情報とし、団体の解釈で掲載するのではなく、店側に了承をいただいた上で掲載するなど、弘前経済新聞の方の意見も聞きながら、自分たちが発信する情報にしっかりと責任を持って取り組んでいただきたい。
- ・皆さんが卒業すれば終わりではなく、ぜひ後輩を育てて、継続して情報を更新するような、そして、毎年発行されるような仕組みを検討して欲しい。

【審査結果】

合計点 60.5点  $\geq$ 60.0点 , 各審査項目の平均点  $\geq$ 3点  $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	5.7
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	5.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.3
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.7
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	5.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	5.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	5.3
合計		60.5

《審査内容》

一般部門

事業番号	19
事業名	太宰治まなびの家 ドラマリーディング定期公演 事業
団体名	津軽カタリスト

【主な意見】

- ・青森県の1つの魅力として経済効果が見込まれるので、頑張ってもらいたい。
- ・資金の獲得に向けて、参加料等を徴収するなど、1歩踏み出してチャレンジしてほしい。
- ・毎回記念公演で特別感がないため、1回の公演だけ目立つようにして参加料を徴収するなど、工夫が必要だと思う。

【審査結果】

合計点 77.2点  $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点  $\geq$ 6点

⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.7
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合 計		77.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	22
事業名	第九回全日本横笛コンクールおよび弘前ねぷたまつりPR事業
団体名	津軽笛地域づくり実行委員会

【主な意見】

- ・回数を重ねるごとにイベントを大きく作り上げて定着させていて、完成度が高くなっていると思う。
- ・大きい夢を持って取り組んでいるのがわかるので、これからの活動に注目して応援していきたい。

【審査結果】

合計点 79.8点  $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点  $\geq$ 6点

⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.2
合 計		79.8

《審査内容》

一般部門

事業番号	10
事業名	「みんなの食堂」おいでえーる
団体名	社会福祉法人 千年会

【主な意見】

- ・地域に存在する社会福祉法人自体が核となって、自分たちの持っている特性を地域に還元することによってまちづくりを行っており、モデル的な事業である。
- ・子どもだけではなく高齢者も関わっており、その地域の方々、住民の拠点になっている事業で、参加する方もそれぞれ役割を持ち、受け手から支え手になっていくなど、地域共生社会の実現につながる取り組みが行われている。
- ・今後も事業を継続して実施していくために、例えば、賛助会制度や後援組織を作るなど、財源の確保に向け情報収集等を行ってほしい。

【審査結果】

合計点 91.7点  $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点  $\geq$ 6点

⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	9.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	9.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	9.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	9.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	9.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	9.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	9.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	9.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	9.0
合計		91.7

《審査内容》

一般部門

事業番号	14
事業名	赤ちゃんも！音楽ファンも！みんなのコンサート & 楽音工房
団体名	アートワールドひろさき

【主な意見】

- ・チラシの文字が多い印象があり、初めての人だとわかりにくいと思うので工夫していただきたい。
- ・芸術に触れたいと思っている障がいのある方や介護をしている高齢者の方などのニーズもあると思うので、将来的には事業の幅が広がってほしい。
- ・学校での芸術系の教科の時間数が限られている中で、子どもたちが学校外で音楽に触れることで、作曲などに繋がる可能性が感じられるいい事業だと思う。

【審査結果】

合計点 81.5点  $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点  $\geq$ 6点

⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.2
合 計		81.5

《審査内容》

一般部門

事業番号	15
事業名	poco a poco アートのたまご ワークショップと作品展
団体名	アートワールドひろさき

【主な意見】

- ・参加者の確保に苦勞している団体もいるなか、議論や研究をしてきちんとしたコンセプトで活動しているので参加者のニーズにマッチしていると思う。
- ・収支予算書にワークショップ1回の支出に対する記載がないので、収入と支出について取りこぼさないようにわかりやすく記載すればよいと思う。
- ・児童館へ出向いて行う新しい取り組みによって、なかなか会場に足を運べない子どもたちの楽しみが増えていけばいいと思う。

【審査結果】

合計点 84.5点  $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点  $\geq$ 6点

⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	9.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.8
合計		84.5

《審査内容》

一般部門

事業番号	21
事業名	第4回 弘前さくら夢 project～小野伸二 サッカー教室
団体名	NPO 法人 弘前Jスポーツプロジェクト

【主な意見】

- ・年々、規模を大きく開催できるようになって、すばらしい事業に育ってきていると思う。子どもたちの、希望や活動の幅が広がっていることが嬉しい。
- ・さらにステップアップを図って、確実にこの交流が根付いてほしい。
- ・子どもたちに届けたいという、開催する側の心意気が形になっているように感じる。
- ・プロという本物に触れることができるのは、すばらしい体験だと思うので応援したい。

【審査結果】

合計点 82.2点 ≥60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点

⇒採択 (申請額どおり)

※審査委員 11名で審査採点 (秋元委員除く)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.4
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合計		82.2



《審査内容》

スタート部門

事業番号	②
事業名	弘前市交流センターサークル合同発表会
団体名	弘前市交流センター合同発表会実行委員会

【主な意見】

- ・ これまでは参加料を集めることで開催ができていた事業であり、参加費と昼食代をそれぞれ集めれば、今後も自己資金での運営が可能な事業だと思う。
- ・ 一般部門での申請も考えているのであれば、これまで実施してきた内容をそのままということではなく、例えばゲストを健康関連の講師に変えて、健康に関する講座を併せて実施するなど、新たな要素も検討していただきたい。
- ・ この活動を契機に、合同発表会に参加する皆さんの歌やパフォーマンスを外で披露する機会を作ってみるなど、次のステップに繋げていくことができれば、より社会性も出てくるのではないかと思う。

【審査結果】

適 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12名で審査